

保育所保育指針で「保育所は保育の資質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、園の保育内容について評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」事が明記されている事を踏まえ、大竹保育園では自己評価の公表を致します。

評価の方法・・・各項目について

できている・5点 まあまあできている・4点 ふつう・3点 あまりできていない・2点 できていない・1点

項目	内容	評価
保育士の「モラル」に関する項目	保育士の身だしなみや挨拶、職員間でのコミュニケーションや丁寧な言葉づかい。 時間に余裕を持ち、身の回りの整理整頓・掃除等に気を配る。 子どもの貧困や人権、子どもを取り巻く環境の変化へ関心を寄せる。 園全体の環境整備・草花や小動物への関心。	全体的に3点から5点評価が多く、おおむね意識できている。 時間に余裕を持つや身の回りの整理整頓は個人差があり、努力が必要な職員もいる。 子どもの貧困や人権に関する項目はまだまだ理解を深める事が出来る余地がある。
「園運営への関わり」に関する項目	「保育理念」「保育目標」の理解と実践。 研修の参加・自己研鑽による資質向上への取り組み。 守秘義務の厳守。 物を大切にする意識・コスト意識の向上。 安全に対する意識の向上と振り返り。	「保育理念」や「保育目標」は分かっているが、日常の保育との関連との結びつきへの理解が浅い職員もあり、努力が必要。 物を大切にしたり、安全に対する意識や振り返りは出来ている。 研修への参加は積極的に行えており、自己研鑽を積む意識が向上している。
「組織・チームワーク」に関する項目	園全体の把握や問題解決に向けての発言や行動。 「感謝する」「労をねぎらう」「認める」言葉を掛け合い良い関係を築く。 自身の健康管理に気を配り、職務に支障をきたさないよう努力する。	自身のクラス運営や行事の準備に集中すると全体の把握がしにくいなど余裕が無い姿も見られる。 職員間の関係は良好であり「お互い様」の気持ちで気持ちよく仕事ができている。 健康に関しては、おおむね良好であり職務に支障をきたすことはない。
「子どもの発達援助（基本・保育の方法・内容）」に関する項目	1人1人の健康状態の把握に努める。 穏やかで温かな関わりを心掛ける。 否定的な言葉を使ったり、無理強いをしない。 子どもがワクワクするような保育計画をしている。 体調の変化や怪我等、適切な対応と説明に努めている。 着替えやトイレ等、人に見せてはいけない部分についての配慮と指導を行う。 子どもの目線に立ち、遊びを共有し、満足感や達成感を味わう機会をつくる。	毎朝の登園時には機嫌や体調を観察し、1日元気に過ごせるように把握に努めている。 子どもたちと一緒に過ごしながら、遊びが広がるよう援助し、満足感や達成感の共有に注力している。 ジェンダーや人に見せてはいけない部分等、丁寧に伝え自然を身に付くよう働き掛けているが、忙しさの中でおろそかになる部分もあるため、再度認識を改めて適切に対応出来るようにしていく。
「保護者や地域との関わり」に関する項目	保護者とのコミュニケーションを大切にし、話しやすい雰囲気・安心して話せる存在となるよう努める。 日常の観察を十分に行い、虐待の早期発見に努める。 日常の挨拶を大切にし、近隣住民との良い関係づくりに留意する。 小・中の職場体験や保育士を目指す学生の実習・ボランティアの意義を理解し積極的に受け入れる。	些細な日常の姿を共有し、信頼関係を築く努力をし、安心して話せる相手となるよう努力を続けている。 近隣住民の中には車の往来の件で指摘を頂く事もあるため、職員も含め保育園を利用する全ての人が気持ちよく往来出来るよう情報提供や注意喚起を行って行き、保護者の皆様にも引き続き協力を仰ぐ。 明るい挨拶を基本とし、笑顔で接する事や優しい言葉かけをこれからも続けて行く。
「災害」に関する項目	大竹保育園周辺や大竹保育園が見舞われやすい災害を把握している。 地震・火災・台風・大雨等の対応や役割を把握している。 防災に関する意識を高め、子ども達にも積極的に伝えている。	大竹保育園周辺や大竹保育園が見舞われやすい災害の把握は概ね出来ている。 役割については、個人差が見られ指示待ちになってしまう事もあるため、自分事として捉え行動出来るようマニュアルの活用や訓練を行っていく。 防災に関する絵本や紙芝居の活用と、月1回の避難訓練時に様々な想定での避難訓練・行動訓練を行い、実際に体験する事を通して身に付けられるよう努力していく。